

2025.4.13 GU春の企画チャット集

- ・ 知識や技術を高めるだけでなく、支援員としての姿勢を追求していきたいと思いました。
- ・ 2回目のブレイクアウトで、「頼られないようにどのような工夫があるのか」という質問に対して、「まずは自分で考えてみよう、と一度1人で考える時間に後押しする」というお話がありました。とても大切なことだなと感じました。
- ・ セラピストとして、自分が整っていることが一番大切だと改めて感じました。
- ・ 生きるとかケアとか自然とか生命力とかに熱い方々と一堂に会して色々分かち合うことができとても刺激的でした。たった今の私の悩みへのヒントになる話題がたくさんでした。
- ・ メキシコ、ロサンゼルス、インドネシアと地球全域を学びと共創のフィールドとするGUの企画らしい参加者の方たちと貴重なライフケアの企画の体験だった。
- ・ 生きるをケアするというと、大したことのように思っていたましたが、日常些細なことからできるんだろうなと思いました。
- ・ 「ケア」ということに関心をもつ人が増えていくと嬉しいし未来は明るいなって思います。
- ・ とても心から豊かな楽しいお話を伺い、何もなくても口元がほころぶ気持ちです。
- ・ 自分がすでに持っている治癒力を生かした暮らしの中でのケアの今を語り合えた。
- ・ そういえば自分は長らく「鼻歌」を歌っていないということに気づき、ハッとしました。
- ・ それぞれの現場で生きるをケアする方達とこの場を通して出会い語り合えたことがうれしかったです。
- ・ 「ひとりひとりがごきげんなら、世界平和は夢じゃない」本当ですねー。
- ・ 海士町、インドネシアへ身体のケアをしに行きたいと思いました。
- ・ はじめての参加でしたが、みなさんの寄り添い、オープンな感じに、各地にイキイキしたコミュニティが草の根のように広がっているのを体感しました。
- ・ わたしの、生きるをケアする＝自らの存在と目に見える見えないモノへの感謝と敬意を持って愛を世にフィードバック、コラボレーション、さらにリジェネレートする、勇気をいただきました。
- ・ 安心して、年齢を超えて、集えるコミュニティがお話から、観えました。そんな空間を造るのは簡単ではないように思います。いろんな垣根を超えた自由な空間のコミュニティが広がればステキな地球に広がっていきますね！
- ・ よその国の人たちからいただいた愛のシャワーとケアをだれもが経験できるようにという言葉が輝いていました。波の輪がどこまでも広がってゆきますように。

- ・地球の新たなタネの芽吹きを強く観じることができました。希望のタネの確認になりました。
- ・自分をケアするとは、しなやかに自ら変化してゆくことなのだと感じました。
- ・わたしの本質を生きることに意識や気持ちを向けていくことは、ライフケアに直結している。体の疲れがあっても、全存在性でのよろこびが立ち上がってゆくんだと感じました。
- ・ごきげんさんでいたいなあ、周りもごきげんさんでいられたらいいなあ。
- ・どのような自分であるか。。。自分を客観的に見つめながら、共に過ごせる方々と笑顔でご機嫌の時間を過ごしたいと思います。ひとつひとつの出会いに感謝です。
- ・「依存」「自立」というキーワードは福祉の対人援助でも意識していることですが、毅然とした対応ができていくかといえは難しいです。
- ・島根さんありがとうございました。ひとり一人が自分の足で立つ事からですね。
- ・輝美さんのお話と笑顔がとても素敵でした。メキシコから訪問させていただきたいと思います！

